

社会奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	行田さくらロータリークラブ
1	事業名称	さくら植樹と保護活動	
2	実施期間	クラブ創立～現在	
3	実施場所	武蔵水路、忍川など市内各所	

4 事業の内容				
<p>クラブ名に「さくら」を冠し、創立以来さくらの植樹・保護活動に取り組んでいます。近年では2010年、行田市の中心を流れる忍川の行田市駅北側左岸に地元自治会とともにさくら3種40本。2014年には対岸にヤエベニシダレ30本を地元自治会と植樹しました。また、樹齢600年と伝わる万願寺のシダレエザクラの保護。武蔵水路の改築にあたっては当初よりさくらの保全をお願いし、国道125号北のさくらのトンネルを残すことができました。2008年より行田市内のさくらの名所、種類を紹介する行田さくらマップを発行し、2014年には内容もより充実させ第3版を発行しました。</p>	継続事業	39	年	
	参加人数	植樹祭70名前後 名		
		内 ローターリ関係	30	名
	事業費	内 他参加者		名
		年30～50万前後 円		
	実施形態	<input type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
註1. 内容は箇条書きでも可 註2. 事業費は実行または予算(万円) 註3. 事業形態は <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックして下さい				

**事業の改善すべき点・感想・自己評価**

さくらは何処にでも植樹すれば良いというものではなく、ふさわしい場所であればなりません。川づくりなどの整備に関わる立場を保持しつつ、多少の専門知識も必要になります。しかも時には気を長くして待つことも大事だと思います。

**6 記録画像**



画像説明 2008年に植樹した忍川左岸のさくら



画像説明 2014年 ヤエベニザクラ植樹風景



画像説明 2014年発行 さくらマップ 3版

備考 報告者 橋本 恭一

社会奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	行田さくらロータリークラブ		
1	事業名称	星川のキタミソウ保護活動			
2	実施期間	2005年～現在			
3	実施場所	行田市 星川			
4	事業の内容				
<p>キタミソウは、日本では一部の地域でしか見られない絶滅危惧種です。行田市の星川は、全国でも最も大きな自生地です。私達は、キタミソウを守ることで、行田らしい自然を未来へ繋げてゆきたいと思っています。2005年より準備し、2006年、星川の馬見塚地区の住民、関連諸団体と共に「星川の自然とキタミソウを守る会」を立ち上げました。「キタミソウと星川の自然」(2006年)「キタミソウ自生地MAP」(2010年)のPRパンフレットの発行。2009～10年のは、諸団体と共に、行田市制60周年に合わせ「キタミソウPR大作戦」を実施しました。毎年、年2回(4月・11月)星川の清掃活動とキタミソウ観察会を行っています。今後は、星川の原風景を保全する視点も加えて活動していきます。</p>		継続事業	7	年	
		参加人数	70 名		
			内 ローターリー関係	15 名	
			内 他参加者	55 名	
		事業費	100,000 円		
実施形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
		<small>註1. 内容は箇条書きでも可</small> <small>註2. 事業費は実行または予算(万円)</small> <small>註3. 事業形態は <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックして下さい</small>			
<b>事業の改善すべき点・感想・自己評価</b>					
<p>埼玉県、県土整備所、行田市の理解もあり、星川の整備にあたっては守る会の意見を反映させていただいている。行田さくらRCの手を離れつつある一方、ロータリーメンバーの意識は低下気味で今後、卓話などで意識の向上を図ることが必要である。</p>					
6	<b>記録画像</b>				
					
画像説明	キタミソウ	画像説明	キタミソウの小さな花(2mm～3mm)		
					
画像説明	キタミソウ清掃活動と観察会	画像説明	清掃活動後の集合写真		
備考		報告者	橋本 恭一		

社会奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	行田さくらロータリークラブ	
1	事業名称	「未来へ残したい行田の自然八景」発行と普及活動		
2	実施期間	2010年～現在		
3	実施場所	行田市内各所		
4	事業の内容			
<p>行田市民の方々に身近な自然に親しんでもらうため、「未来へ残したい行田の自然八景」発行を企画しました。行田市制60周年「キタミソウPR大作戦」を実施した諸団体とともに実施しました。自分たちだけで八景の場所を決めてしまうのではなく、市民アンケートを募集し、市民約800名から回答を得て、場所を策定しました。A5カラー14ページ3000部発行。後、八景+2箇所を一年に3～5回のペースで「未来へ残したい行田の自然八景ウォーク」を自然とウォーキングを楽しみながら実施しています。読売新聞や行田市報などにイベント案内で取り上げていただいています。連絡先は行田さくらロータリークラブです。2014年には残り部数がなくなり、再発行しました。</p>		継続事業	5年 年	
		参加人数	30～70 名	
			内 ローターリ関係 10 名 内 他参加者 20～60 名	
		事業費	1万～30万 円	
		実施形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		註1. 内容は箇条書きでも可 註2. 事業費は実行または予算(万円) 註3. 事業形態は <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックして下さい		
5	事業の改善すべき点・感想・自己評価			
活動が認知されていくにつれ参加者も増え、安定的な参加者があります。				
6	記録画像			
				
画像説明	2013年 石田堤	画像説明	2013.3.10 幻の村新川をたずねて	
				
画像説明	行田の自然八景 表紙・裏表紙	画像説明	行田の自然八景 P1.P2	
備考		報告者	橋本 恭一	